

伊平屋北ワークショップ

URL: http://unac.iis.u-tokyo.ac.jp/pdf/iheyakita_20160513.pdf

日時：2016年5月13日（金）：10時～17時40分まで
場所：東京大学生産技術研究所 An 会議棟大会議室（An301/302）

<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>

コンビーナ：浦 環（九州工業大学・特別教授）

石橋純一郎（九州大学・准教授）

企画：「海洋鉱物資源広域探査」プログラム拠点

主催：東京大学生産技術研究所海中観測実装工学研究センター

九州工業大学社会ロボット具現化センター

共催：SIP「海のジパング計画」

【趣旨】基盤ツール拠点（「海洋鉱物資源広域探査」プログラム拠点）では、熱水鉱床の探索のためのツールを開発し、それを使った調査を手法の開発および実際の調査を実行し、より使いやすいシステム開発をおこなっています。それら機器が実際にどのようなデータを提供しているのか、探索にどう役立っているのかを知るためには、具体的な海域に的を絞ってデータを持ち寄り、その海域の成り立ちをも含めた集中的な議論をおこなう必要があります。これまでに、白嶺鉱床が確認されているベヨネース海丘、そして明神海丘およびサンライズ鉱床をターゲットとするワークショップを2回開催しました。本年度は、多くの調査がなされてきた伊平屋北フィールドをターゲットとし、データを持ち寄り議論するワークショップを開催いたします。

【プログラム】

1. 開会の挨拶：10：00 浦 環（九州工業大学具現化センター）
 2. 沖縄トラフの進化と伊平屋北サイトの位置付け：10：10 沖野郷子（東京大学大気海洋研）
 3. 中部沖縄トラフ、伊平屋北海丘周辺の基盤岩類の岩石学的特徴
-SIP「ちきゅう」掘削結果をふまえて-：10：50 山崎 徹（産業技術総合研究所）
 4. 伊平屋北海丘の熱水域海底下の熱水化学反応：11：20～12：00 石橋純一郎（九州大学）
 5. 2台の無人機の同時展開：13：00 浦 環（九州工業大学具現化センター）
 6. 海底画像マッピングと生物探査：13：15 ソートン ブレア（東京大学生産研）
 7. 伊平屋北熱水フィールドにおける大型生物調査：13：45 渡部裕美（海洋研究開発機構）
 8. 伊平屋北フィールドの熱水と微生物と私：14：15～14：45 高井 研（海洋研究開発機構）
 9. 電磁気探査：15：00 後藤忠徳（京都大学）
 10. 海底熱水循環系の時空間スケールに対する考察：沖縄トラフ熱水域の孔内・海底熱流量からの推定：15：30 木下正高（東京大学地震研）
 11. 伊平屋北海丘で実施された掘削同時検層の概要：16：00 斎藤実篤（海洋研究開発機構）
 12. CK16-01 Site C9017, C9021, C9023 のコア記載と各種データとの対比：16：30 高谷雄太郎（早稲田大学）
 13. 人工熱水孔を利用した黒鉱養殖プロジェクト：17：00 野崎達生（海洋研究開発機構）
 14. 閉会の挨拶：17：30～17：40 浅田 昭（東京大学生産研）
- 研究懇談会（DW601室）：18：00～19：30（参加費3,000円）

以上